

事業所名 グループホーム古都の家

作成日: 令和3年4月22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	生命に関わる緊急時(誤嚥・窒息時、意識消失時等)に全職員が迅速に対応できるよう、計画的・継続的な実技訓練の実施が期待される。	訓練により、緊急対応ができるようになる。	①消防局の救命講習に参加する。 ②施設内、教育訓練を実施する。 ③オンライン学習	12ヶ月
2	18	継続的な話し合いを実施しているとのことであり、職員全員への更なる周知、徹底に期待したい。	自分の立場に置き換え、羞恥心を否定するような行動が何かを考え、行動できるようになる。	①申送りは、入居者の保安ができて職員の声が聞こえない場所でおこなう。 ②排泄の声掛けは、まわりに聞かれないようにする。 ③施設内、教育訓練を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。